

校長室から 25 生徒の学びを支援し続けるために
～ オンライン授業の試行 ～

5月7日、新型コロナウイルスが感染拡大した場合に備え、オンライン授業の試行を行いました。昨年度、臨時休業が続いていた時は、G クラスルームを使って、授業動画などを配信し、生徒の学びの支援を行った他、G ミート（同時双方向型ツール）を使ってホームルームや面談なども行いました。今回は、G ミートを基本としたオンライン授業の試行を行いました。

レッスン（科目、クラス）単位に G クラスルームを設定し、そこに G ミートへのリンクを貼り付ける方法をとりました。G クラスルームと G ミートを連動させることで、教材の指示や連絡、予め動画の配信をしておくなど、多様な授業形態の可能性があると考えました。生徒は時間割に従って、G クラスルームから指定の G ミートへ入っていきます。

実施に向けて、職員は朝の職員打合せを G ミートで行ったり、教室での対面授業の中であえて G ミートを使った授業をしてみたり、ちょっとしたコツやトラブル対策を共有したりするなどして準備をしてきました。

当日、生徒は基本的に自宅で、オンライン授業を受けました。朝のホームルームでは、接続確認、マイクやチャットを使って出席確認などを行った後、時間割どおりにそれぞれの授業を受けました。最後に帰りのホームルームで、本日のオンライン授業に関するアンケート等をおして振り返りを行いました。

その後、職員は教科別、教科横断任意のグループ別に、本日の試行内容の共有と振り返りを行いました。その内容をいくつかご紹介します。

【出席確認の方法や状況】

- チャットで出席番号順にコメントを入れてもらう。（2分～かなり時間がかかるケース）
- カメラオンで返事する。
- 出席番号順に並べたユーザー一覧で確認する。
- フォームの回答で確認する。
- 途中入室、退室を把握することが難しい。
- 途中で挙手を求めてみたが、実際に授業に参加しているかどうか不安。

【通信状況】

- 入室に時間がかかる生徒、途中で退室してしまう生徒がいる。
- 音声、動画が途切れがちになる。
- カメラ、マイクのない機器を使用している生徒がいる。
- 生徒側の不具合に気づけないケースがある。事前に資料配布等しておくといよい。
- 学校側にも接続の不具合があった。

【授業内容・方法】

- スライドの画面共有、シミュレーション動画、予め用意した動画共有など。
- 板書を映しながら授業を行ったが、生徒の反応がわかりにくい。
- 生徒の解答を画面で共有した。
- 指名した生徒に発言を求める。
- 予め別の部屋（G ミート）を用意し、小グループでのグループワークを取り入れた。
- グループワークでは、意見を出しやすい生徒もいるし、出しにくい生徒もいる。



- PC2台（画面を映す、生徒の様子をみる）を活用した。
- 予め講義動画を配信し、G ミートでは質問対応をした。
- 体育や芸術などの実技科目は難しい。



【成果と課題】

- 講義主体の授業には対応できるが、一方的になる。
- 生徒の反応、理解度や状況を捉えるのが難しい。
- スマートフォンは画面が小さく切り替えが困難、PC ではズームができないなど、デバイスによる違いに配慮する必要がある。
- 静かな環境で声を出して自分の発音を確認、録音して提出する等、オンラインだからこそできることをする。
- リアル配信だけでなく、昨年実施したようなオンデマンド型の配信を組み合わせるとよい。
- 学習を継続していけるような授業を模索していきたい。

生徒の感想を紹介します。

- （1年）特に普段と変わらず授業を受けることができたと思う。むしろ普段より集中できた。
- （1年）授業中で分からない問題などを友達や先生に気軽に聞けないのが、やっぱり不便だなと思った。
- （1年）思っていたよりも普段とあまり変わらずに授業が受けられたと思いました。体育や話し合いの場面は学校での授業の方がやっぱりいいなと思ったけれど、先生が指名しながら授業をしてくれたり、みんなの顔が見れたりもしたのであまり不便には感じなかったです。
- （1年）思ったよりいろいろなことができた。話し合いができたり、時間を区切ってそれぞれ課題に向き合ったりするのは良かったと思う。
- （2年）使っている端末によって画面の大きさ、見やすさが変わってしまうのでみんな平等に授業を受けられないのがオンラインのデメリットだと思います。でも家でも普通に授業が聞けるという所は凄いです。これから風邪で休むときなどは、オンラインでも授業が聞けたりできるようになったらとってもいいです！
- （2年）なんでも全部、双方向型の授業である必要はないと思います。意見の共有等は、チャットやJam boardの方が断然便利だと感じました。黒板の使い方をもっと考えないと、効率的な授業が行えないと思いました。
- （3年）講義を聞きながら、落ち着いて自分のペースでできたのが良かったと思う。
- （3年）通常授業と何ら変わらずに行えた授業もあれば、コミュニケーション英語などは生徒間での対話がなかったのでやはり少し物足りなさも感じました。しかし、基本的には円滑に授業を受けられました。
- （3年）質問が即時できないことと疑問を共有できないのが非常に歯痒い。
- （3年）定期的にオンライン授業をやるならいいが、毎日これになるのは厳しいかもしれない。（集中力が続かなかったり、学校に通うことによって保たれる習慣があると思うから…）

今回は、1日限定で、G ミート（同時双方向型ツール）を基本としたオンライン授業の試行を行いました。昨年度のように生徒が登校できなくなる状況は避けたいと思いますが、仮にそういう状況になったとしても対処できるようにしておく必要はあると思います。授業のねらいや内容に応じて、場面毎に様々なツールを使い分け、生徒の学びに対するモチベーションをより向上させることができるような授業を引き続き探究していきたいと思います。さらに、そこで培った方法を活用することで、対面での一斉授業であっても生徒一人ひとりに合わせた学びの場を提供することにつなげていけるのではないかと考えます。